

令和4年度第1回学校評価結果のお知らせ

お忙しい中、保護者の皆様には、7月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の3者を比較できるようにしました。継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

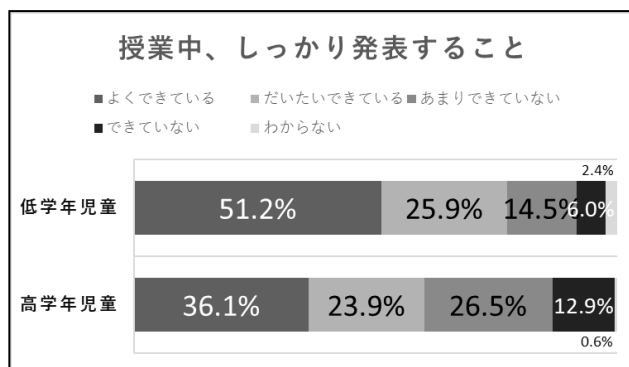
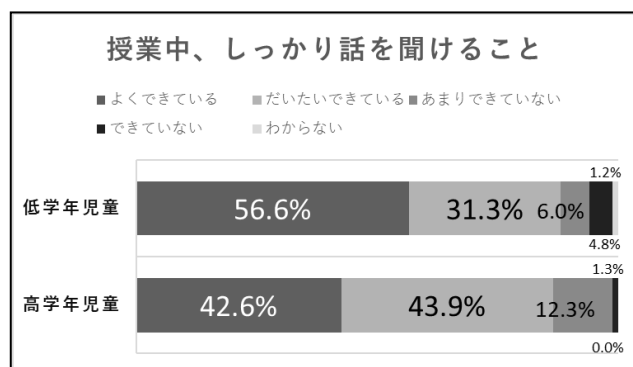
アンケートの項目を、【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より

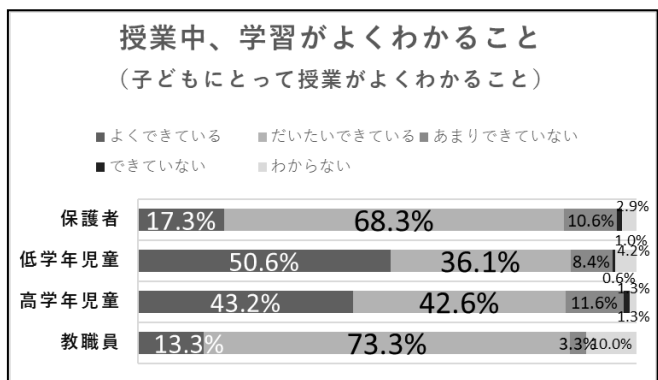
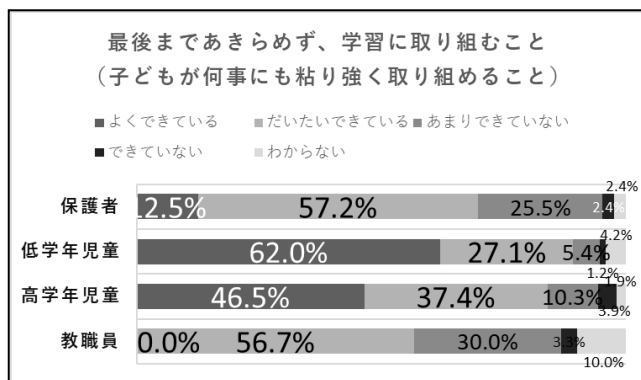
※実現度についてグラフ化しています。

※全項目は掲載できませんので、ご了承ください。

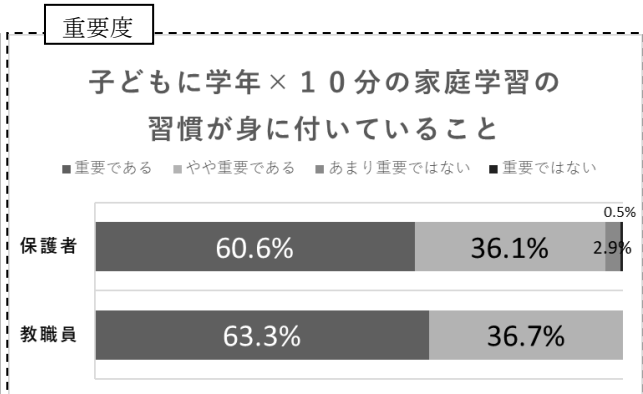
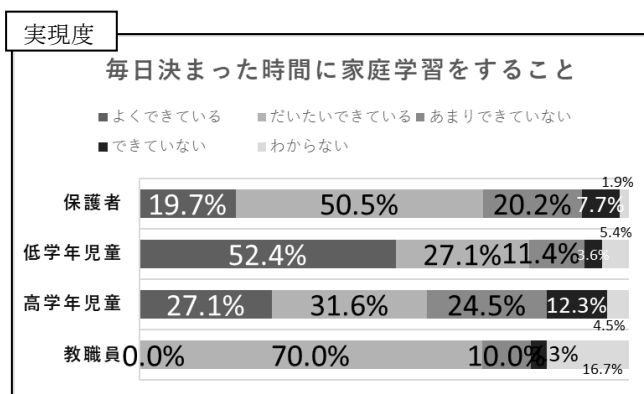
【確かな学力】



◆『しっかり話が聞けること』は、低学年・高学年の児童とも85%以上が「よく（だいたい）できている」と答えています。一方、◆『しっかり発表すること』では、「よく（だいたい）できている」と答えた児童が、低学年では約75%、高学年では60%と、例年「聞くこと」と比べ低くなっています。本校では、「伝える力+汲み取る力=つながる力」を育成したい資質・能力として挙げ、梅津中学校ブロック（梅津北小・梅津小・梅津中）でも、「伝える力」の育成に重点をおいて取組を進めています。これまで、伝え合いや話し合いの活動を工夫し、相手に自分の思いや考えを伝え、相手の思いを汲み取ることを大切に指導してきました。今後も引き続き、それぞれの学年に応じた指導を進めていきます。

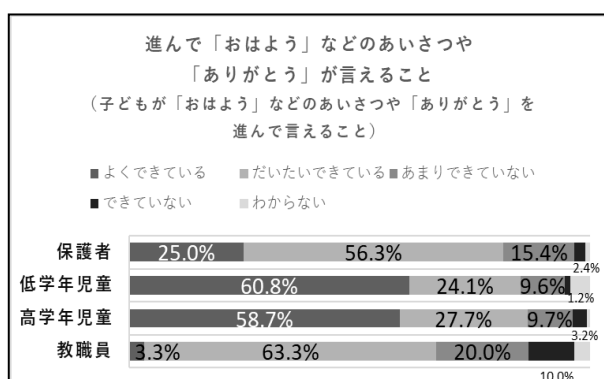


- ◆『最後まであきらめず、学習に取り組むこと』は、約85%の児童が、「よく(だいたい)できている」と答えています。教職員・保護者は60～70%が「よく(だいたい)できている」と答えています。この項目は、一昨年度から今回まで、「よく(だいたい)できている」の割合の増加が少しずつですが続いています。子どもたちの「学びに向かう力」がついてきていると考えます。粘り強く取り組むことが、「学習がよくわかること」につながるように、これからも、子どもたちの最後まであきらめずに取り組む姿をしっかりと見取り、認め、励ましていきたいと思ひます。

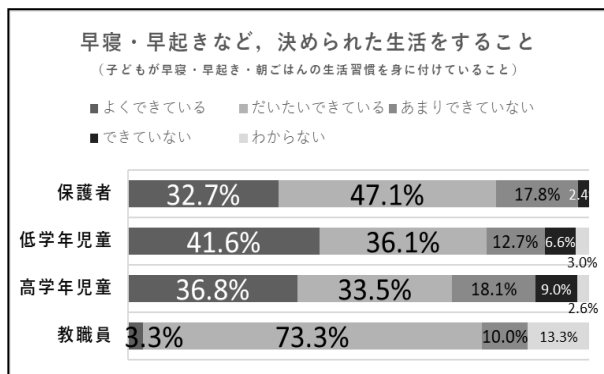


- ◆『家庭学習の習慣が身に付いていること』の重要度は、教職員・保護者とも、9割以上が、「(やや)重要である」と答えています。しかし、実際の実現度である◆『毎日決まった時間に家庭学習をすること』では、「よく(だいたい)できている」と答えた児童が、低学年で約8割、高学年で6割弱でした。また、教職員・保護者も約7割でした。自分で勉強するという習慣は、「計画を立て」たり、「見通しをもって行動し」たり、などのとても大切な力をつけることにつながり、この力は、社会でたくましく生きていくための基礎となる力です。ただ、この力は一朝一夕で身に付くものではありません。毎日、少しでも勉強をすることで、それが「普通のこと」、「習慣」になります。ご家庭でも、それぞれに合った家庭学習のやり方をご相談いただけるとありがたいです。

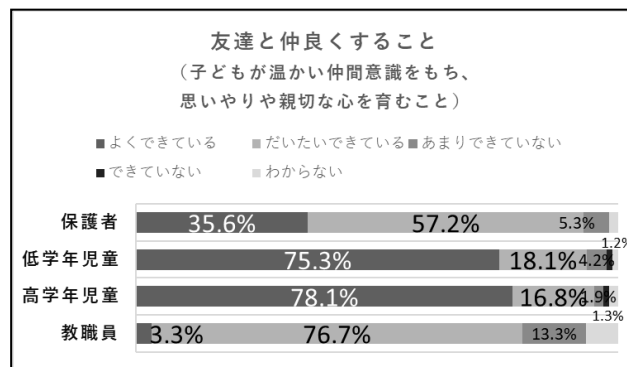
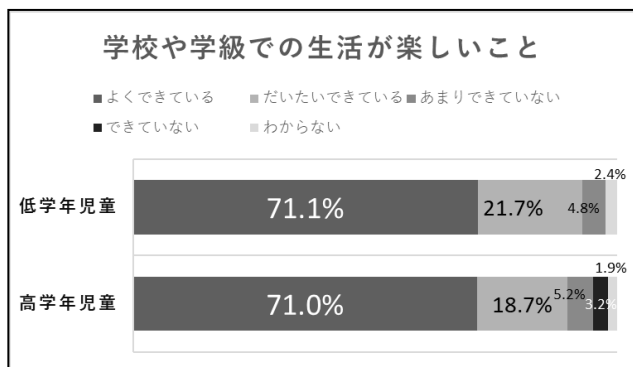
【豊かな心・健やかな体】



- ◆『進んで「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」が言えること』で、「よく(だいたい)できている」と答えた割合は、児童では約85%でしたが、対して教職員・保護者は、子どもたちのあいさつの実現度が低いと感じているようです。自由記述欄にご意見がありましたが、あいさつは人間関係をつくる第一歩。気持ちよく、笑顔になれるようなあいさつが広がるためにも、大人も子どももみんなあいさつができる“うめきた”にしたいですね。

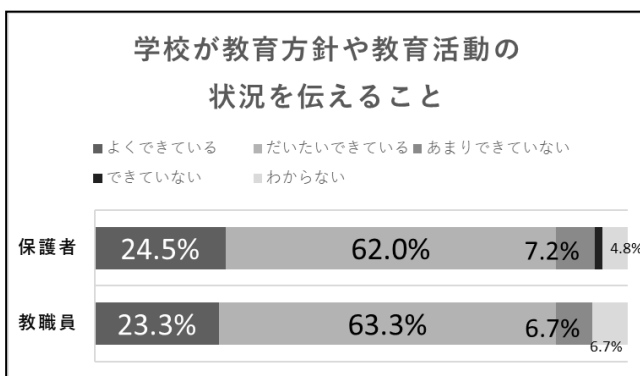
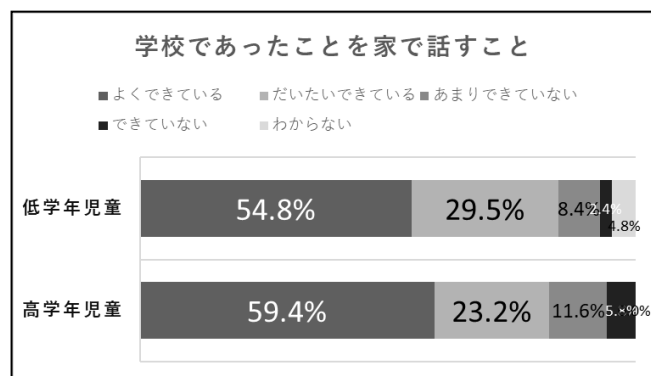


◆毎回、『早寝・早起きなど、決められた生活をする事』の、「よく(だいたい)できている」と答えた児童の割合は、低学年より高学年が5%ほど低いです。長期休業明けの「生活しらべ」でも、学年が上がるにつれ、早寝・早起きができなくなったり生活リズムが崩れたりする児童がいます。規則正しい生活を送ることで、元気に充実した日々を過ごせるよう、ご家庭でも、今一度お声かけください。



◆『学校や学級での生活が楽しいこと』では、「よく(だいたい)できている」と答えた児童が、低学年・高学年とも9割を超えています。また、◆『友達と仲良くすること』では、「よく(だいたい)できている」と答えた児童は、低学年・高学年とも9割を超える高い割合になっています。この項目は、コロナ禍となった一昨年度からもずっと高い割合が続いています。行動や活動に制限ができ、なかなか思うように友達と関わることができにくい状況の中でも、子どもたちは温かい仲間意識をもち、学校生活を有意義に過ごしていることがわかり、とてもうれしく思います。

【学校・家庭・地域の連携】



◆『学校であったことを家で話すこと』は、「よく(だいたい)できている」と答えた児童の割合は、低学年・高学年とも約80%で、高い割合でした。また、◆『学校が、教育方針や教育活動の状況を伝えること』も、「よく(だいたい)できている」と答えた教職員・保護者の割合は、約85%ととても高い割合でした。家庭において、子どもたちが学校の話をしていること、それを保護者の方が丁寧に耳を傾けてくださっていることがとてもよくわかりました。授業参観や懇談会、行事等、子どもたちの様子を知っていただく機会が少なくなっていますが、学校の教育方針や日々の様子など、学校からは、今後も引き続き、学年だより・学級だよりや学校ホームページなどでお伝えしていきます。ご質問ご意見がございましたら、些細なことでも結構ですので、遠慮なく学校へお知らせください。

自由記述欄より

- ・年度当初、学年や学級で大切にしていこうなどをお知らせしていただいているが、学級懇談会が中止になると、それが伝わらないことがある。家庭と学校・学級の連携が必要だと思うので、プリントなどでもよいので伝えてほしい。
- ・参観時、廊下から見るようになって、何をしているか、どんな発言をしているかなどが分かりにくくて残念。
- ・こちらからあいさつをしても返してもらえない保護者がいる。子どもたちが元気よくあいさつできるようにするためにも、まずは大人、保護者が積極的に挨拶をするような環境になってほしい。子どものあいさつも少ない。
- ・先生方や地域の見守りの方たちが元気に気持ちよくあいさつをされて気分がいい。
- ・高学年の子どもたちが積極的にあいさつすると、それを見て低学年の子どもたちも見習ってあいさつできると思う。
- ・次月の予定などを早めに知らせてもらえるとうれしい。
- ・PTAの活動について、子どもたちに関係のない活動はなくすなど再検討してほしい。
- ・仕事をしている活動が難しい。PTAの在り方を見直してほしい。
- ・体育服につけるゼッケンを毎年付け替えるのが大変。
- ・毎日、子どもたちのために先生方には感謝しております。ありがとうございます。
- ・いつもごくろうさまです。

コロナ禍のここ数年、授業参観や懇談会が中止になることが幾度もあり、子どもたちの学校生活について知っていただく機会が減ってしまっています。これまでも、学校だよりや学年だより、HPなどで学校の教育方針や日々の様子をお伝えするようにしていますが、今後より一層、家庭と学校・学級の連携のために発信していきたいと思います。

授業参観では、人数制限や時間帯の分散、廊下から間隔をあけての参観など、さまざま制約をお願いしているところです。制約などの内容については、その都度、感染症拡大の状況や情勢などを鑑みて検討しています。ご理解いただけますとありがたいです。

PTA活動については、今年度も、取組や進め方など、役員のメンバーの方々と話し合っており、よりよいものにしてくださっています。コロナ禍において取組に制限がある中ですが、子どもたちのためにできることを取り組んでくださっています。今後も、その時々合った仕組みを考えながら、進めていきたいと思っています。

第1回学校運営協議会でのご意見

【確かな学力】

- 家庭学習については、家庭生活全般も含め、共働きの家庭が多くあるなど、子どもの様子を十分にみられない場合もあるかもしれない。忙しい中ではあるが、学習や学校での様子などを知ることが大切にしてほしい。
- 自分の考えを発信でき、他者の考えを受け止められることは、とても大切な力。
- タブレットや手書きの紙面など、コミュニケーションの方法にはさまざまあり、それぞれによさがあると思う。子どもたちには、いろいろな方法での対話的な学びを大切にしてほしい。

【豊かな心・健やかな体】

- 地域ではあいさつをする子は増えている感覚がある。
- 子どもたち同士のあいさつは少ない様子。学年やクラスが違って、いろいろな人とあいさつできるとよい。
- 給食の献立には、子どもたちが普段あまり口にしないような素材やメニューもあるようで、食に関する指導もあり、子どもたちの健康に対していろいろな工夫があってありがたい。

【学校・家庭・地域の連携】

- 高学年の子どもでも、家で学校のことをよく話している様子で少し驚いているが、とてもよいこと。
- PTAは、今後も引き続き、子どもたちのためのよりよい活動を進めてほしい。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも梅津北小学校の子どもたちのよりよい成長に向け【学校】【家庭】【地域】で連携していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。